

韓国語

皆さんは韓国という国にどのようなイメージを持っていますか？ K-POPアイドルの華麗なステージパフォーマンスでしょうか、それとも世界を驚かせた映画やドラマ、あるいは食欲をそそる韓国料理でしょうか。

日本と隣接する朝鮮半島は、古代より2000年以上の長きにわたり、政治・経済・文化のあらゆる面で深く交流してきました。近年では、「冬のソナタ」に始まった韓流ブームがK-POPや映画、ドラマ、文学、そして食文化へと広がり、若者文化の一部として完全に定着しています。これにより韓国語は非常に身近な言語となりました。また、経済面においても、日韓両国企業の相互進出は日常的な風景となり、ビジネスパートナーとしての共存共栄は、これからのアジア経済において不可欠な要素となっています。

韓国語は「朝鮮語」とも呼ばれ、朝鮮半島を中心に世界で約8000万人が使用している言語です。皆さんが街中やパッケージなどで目にする「ハングル」という文字は、一見すると記号の羅列のように見えるかもしれませんが、しかし、これは15世紀に世宗大王という王様が「誰もが簡単に覚えられるように」と願い、工夫をこらして創り出した、世界でも稀に見る「創作者と創製原理が明確な文字」です。



光化門広場にある世宗大王像



景福宮



景福宮内の慶会楼
写真：若松幸紀(3年) 提供

ハングルは漢字のような表意文字ではなく、口の形や発音の様子をかたどった記号（母音と子音）をパズルのように組み合わせる「表音文字」です。基本母音字10個と基本子音字14個の組み合わせによって一音を表す一字ができ上がる、極めて科学的かつ体系的なシステムを持っています。そのため、ハングルの仕組み（ルール）さえ理解してしまえば、誰でも短時間で文字が読めるようになります。



明洞

写真：若松幸紀(3年) 提供



水原 별마당図書館

写真・若松幸紀(3年) 提供

韓国語は日本語と様々な点で似通っているため、日本語話者には最も学びやすい言語の一つといえます。特に語順や文法構造が日本語とほぼ同じで、「てにをは」に相当する助詞もあるので、日本語をそのまま順に韓国語の単語や助詞に置き換えていけばよいのです。さらに、韓国は日本と同じ漢字文化圏に属しているため、語彙の約7割が漢字語で構成されています。「道路（ドロ）」「歌手（カス）」「無料（ムリョ）」のように、日本語と発音が酷似している単語が数多くあり、皆さんがこれまで培ってきた漢字の知識が、学習において強力な武器となります。

しかし、いくら学びやすいといっても、習得には地道な努力と根気が必要です。また、単に言語スキルを身に付けることにとどまらず、学習を通して、それを話す人々の社会や文化を知り、新しい発見を楽しみながら、皆さんの知的な世界をさらに深めてみましょう。

そして、ある程度基礎を学んだら、ぜひ実際に使ってみてください。日本国内でも韓国の方々と接する機会は多くありますし、地理的にも近いので実際に足を運んでみるのも良いでしょう。教室で学んだ言葉が現地の人に通じた瞬間の喜び、市場の活気、食文化の熱気、そして現地でしか感じ取れない社会の空気感を味わってみてください。「百聞は一見に如かず」と言いますが、五感を使って肌で感じる「生きた体験」は、机上の学習だけでは得られない深い気づきを皆さんに与えてくれるはずです。



ソウルにある広蔵市場（クァンジャンシジャン）

写真：長島有沙(3年) 提供



キムチ類



ビビンバ

日韓両国の年間往来者数が一千万人を超える時代となり、学習した韓国語の知識がすぐに役立つことは、学んでみれば皆さんも本当に実感できると思います。日本と韓国の間には文化面・経済面での盛んな交流がありますが、一方、過去の不幸な歴史が現在も

尾を引いていることも事実です。表面的な文化交流だけでなく、過去の経緯を含めた多角的な視点を持つことが、これからの大学生には求められます。あなたの踏み出す韓国語学習の第一歩は、単なる趣味や実益を超え、日韓の真の相互理解と、新たな未来を切り開くきっかけにもなるはずです。

まずは韓国の文化と言葉の響きを楽しみながら、一緒に楽しく韓国語の勉強を始めてみませんか。



北村韓屋村の路地
写真：若松幸紀(3年) 提供



醬甕台 (ジャントケテ)



餃子とビビン麺
写真：若松幸紀(3年) 提供



慶州の瞻星台 (チョムソンデ)



慶州の仏国寺